

やすらぎ短信

令和4年
5月号

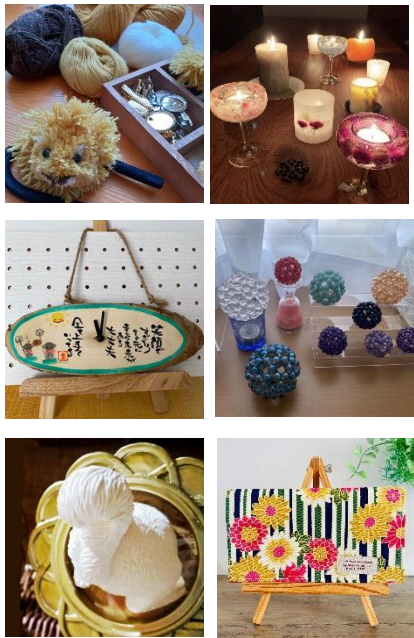
端午の節句（鯉のぼり）



五月五日は、端午の節句です。この日には、兜や武者などの五月人形を飾り、ちまきや柏餅をお供えて、子どもの健やかなる成長をお祈り致します。外では、鯉のぼりをあげ、男の子の誕生を神様に伝えます。鯉のぼりは本来、お田植祭に田の神様をお迎えするために、お清めが済んだ家の目印のために揚げたものでしたが、後に「鯉」が滝を登り切って「竜」になったという故事から、「立身出世」の象徴として各家庭であげるようになりました。現在では、真鯉（ひごい・黒）
 〓お父さん、緋鯉（まごい・赤）
 〓お母さん、青い鯉
 〓子供の順であげます。

癒しの杜（もり）作品展開催

来る五月三日～五日、社務所にて「第七回癒しの杜（もり）作品展」を開催、癒しをテーマにした作品が集います。コロナや戦争の不安が続く中、ゆつくりと心を癒す時間も大切です。今回も下記の十名の作家さんが真心込めた作品を出展致します。三日・四日の夜には、三百個の燈明に火を燈す「浄夜燈明」（じょうやとうみやう）も開催致します。皆様のお参りをお待ちしております。



- 山口友紀
- morineko
- 杜の住人
- 山口友紀
- 山岸可奈枝
- 竹田美智子
- 江波戸誠

※敬称略

浦幌神社の鯉のぼり



去る四月二十七日、毎年恒例の鯉のぼり八十四匹が境内にあげられました。この取り組みは、平成二十七年、竹田電機様（株）が電柱二本を奉納してくださり、子どもたちの成長を願って、三十四匹の鯉のぼりをあげたのがはじまりです。今では家に眠っていた鯉のぼりを奉納してくれる方も増え、大小色とりどりの鯉のぼりで賑やかになりました。毎年、町内外の元気な子どもたちが遊びにきてくれます。五月五日まであげております。どうぞ、お子様、お孫様とご一緒に参りがてら見にきてください。お待ちしております。

浦幌神社春季祭について

浦幌神社春季祭

を左記の通り斎行致します。あらゆる産業の繁栄と氏子皆様の安寧をお祈り申し上げます。式典では、神楽舞月姫会による神楽舞も奉納致します。



日時 五月二十日

式典 午後五時より

余興 佐脇由佳 歌奉納

※餅まきは今年も中止

乳神神社春季祭について

乳神神社春季祭を左記の通り斎行致します。

日時 五月二十一日午前十一時より

健康祈願

病気平癒祈願

子宝祈願

安産祈願

良縁祈願

その他祈願（玉串料 三千円より）



佐脇由佳 奉納コンサート

春祭り（五月二十日）の余興で、帯広

出身のシンガーソングライター佐脇由佳さんが奉納コンサートをを行います。佐脇さんは、希少癌の一つ子宮内膜間質肉腫と闘病しながら音楽活動を続けておられます。昨年十月、病気平癒の信仰を集める乳神神社へ参拝されたことをきっかけに宮司との交流がはじまり「自分と同じように癌で悩み苦しむ患者さんやその家族のために寄り添いたい」と佐脇さん本人が春まで浦幌町に通い、豊かな自然を散策し、自分の「命」と向き合いながら、新曲「今を生きる」を書き下ろしてくれました。「この曲を癌で悩む人たちに届けたい」と地元の若手有志の会「うらほろOTICK」がボランティアでミュージックビデオを製作。撮影は、ほぼ浦幌町内の自然や観光名所で行われ、浦幌町や同教育委員会の全面協力をいただきました。半年に亘る撮影作業の末、去る四月二十一日、新曲「今を生きる」

の曲とミュージックビデオが同時リリースされました。そして、左記の日時に浦幌神社で奉納コンサートを開催する運びとなりました。人数制限をしたコンサートですので、ご希望の方は、公式ホームページをご覧ください。お待ちしております。

日時 五月二十日午後七時より
場所 浦幌神社社殿
入場料 一五〇〇円
定員 三〇名
申し込み 浦幌神社公式ホームページ
五月六日より受付開始

※コンサートの様子は、後日、数曲ですがYouTube 配信致します。

浦幌神社行事予定

五月一日 月次祭
五月十五日 月次祭
五月二十日 浦幌神社春季祭
五月二十一日 乳神神社春季祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八